

2026年度

福山市新市町地内

藤尾ダム水管理施設等更新工事実施設計書

工 事 概 要	当 初	変 更
	水管理施設（藤尾ダム管理所） 入出力処理装置Ⅰ 1 式 演算処理装置 1 式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、藤尾ダム水管理施設等更新工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・別紙「藤尾ダム水管理施設等更新工事 特別仕様書」
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいます。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事は、工事検査期間として、14日間を見込んでいます。

第2節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3 日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - （1）補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

藤尾ダム水管理施設等更新工事

特 別 仕 様 書

項 目	内 容
第 1 章 総 則	藤尾ダム水管理設備施設等更新工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書（施）」という。）及び「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書（土）」という。）に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。
第 2 章 工事内容	この工事は藤尾ダム水管理システムに関する観測・警報・制御及び電気通信設備の部分更新工事である。構成装置のうち入出力装置Ⅰおよび演算処理装置の更新を行う。
第 3 章 工事場所	福山市新市町地内 藤尾ダム管理所
第 4 章 工事数量	「工事数量総括表」のとおりである。
第 5 章 施工範囲	本工事の施工範囲は、設計図書に示す設備の設計、製作、輸送、据付及び試運転調整までの一切とする。 受注者は下記の関連規定等に従い、施工を行うものとする。 1) 水管理制御方式技術指針(計画設計編) [農村振興局 整備部設計課] 2) 電波法 3) 電気通信事業法 4) 電気設備に関する技術基準を定める省令 5) 電気設備の技術基準の解釈 6) 日本産業規格 (J I S) 7) 日本電機工業会規格 (J E M) 8) 電気学会電気規格調査会標準規格 (J E C) 9) 電池工業会規格 (S B A) 10) 日本電線工業会規格 (J C S) 11) 日本電力ケーブル接続技術協会 (J C A A) 12) 内線規程 13) 国際電気通信連合電気通信標準化部門 (I T U - T) 14) 一般財団法人 V C C I 協会技術基準 (V C C I) 15) 米国電気電子技術者協会 (I E E E) 16) 国際規格(国際電気標準会議) (I E C) 17) 施設機械工事等施工管理基準 18) 国電通仕第 21 号 (テレメータ装置標準仕様) 19) 国電通仕第 27 号 (放流警報装置標準仕様) 18) その他関連基準及び規格
第 6 章 施工条件 1. 機器更新の方法	新設機器の設置については、新設機器を仮置きし、既設機器との並行運用とする。また、稼動中の施設と並行運用の為、更新時は既設機器を熟知したものが立ち会って実施すること。なお、仮置き場所および設置方法は監督職員と協議するものとする。 (参考：既設メーカー (株) IHI インフラスクエア)
第 7 章 現場条件 1. 第三者に対する措置	(1) 防護柵、バリケード、カラーコーン等の安全施設の設置 工事箇所外周等に設置する安全施設類の設置に当たっては、転倒、飛散等による事故が起こらないように、十分注意し設置するものとする。 (3) その他 既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

項 目	内 容
第 8 章 貸与する 施設及び資 料等 1. 貸与する資料 等	本工事の施工において、関連する次の資料は貸与する。 (1) 資 料 名 対象施設完成図書 (2) 貸与期間 工事施工期間 (3) 貸与条件 貸与資料の内容については、発注者の許可なく他に公表してはならない。
第 9 章 支給電力	本工事の試運転調整に要する電力は発注者において支給する。
第 1 0 章 設 計 1. 一般事項	藤尾ダムの水管理システムに関する観測・警報・制御及び電気通信設備の部分更新工事である。 提出図書は、A4 版の装丁及び C D とし、監督職員が指定する日までに次に示す部数（承諾後の返却分を含む）を作成し監督職員に提出するものとする。 施工計画書 2 部 詳細図 2 部 施工図 2 部 実施仕様書 2 部 施工管理記録 1 部 工事写真 1 部 計算書 1 部 完成図書 3 部 ソフトウェア計画設計書 2 部 なお、完成図書及び施工図の内容、編集等については監督職員と打ち合わせのうえ作成するものとする。また、提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。 (1) 受注者は、当該機器の維持、修繕、改修、更新等の為に必要な範囲で発注者及び当該機器の維持、修繕、改修、更新等を請け負った者が施工図を自ら複製し及び翻案、変形、改変その他の修正をすること、並びにこれらの者が委託した第三者を介して複製させ、及び翻案、変形、改変その他の修正をさせることを許諾するものとする。 なお、かかる許諾に伴い施工図が翻案、変形、改変その他修正された場合には、発注者は当該修正等を行った者の名称及び修正箇所を当該施工図に表示するものとする。受注者は、当該修正等が実施された場合には、それ以降、元の施工図等に基づく工事について責任を免除されるものとする。 (2) 受注者は、施工図が著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）の著作物に該当する場合において著作権法第 19 条第 2 項及び第 20 条第 1 項の権利を行使しないものとする。 (3) 受注者は、施工図が著作権法の著作物に該当する場合において、施工図にかかる著作権法第 2 章及び第 3 章の権利を第三者に譲渡し、又は許諾してはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾又は同意を得た場合はこの限りではない。 (4) 受注者は、施工図が第三者の有する著作権を侵害し、発注者が著作権法に従い第三者に損害の回復等の処置を講じなければならないときは、発注者に代わり、その損害を負担し、又は回復等の処置を講ずるものとする
第 1 1 章 仕 様 1. 設計諸元	(1) 環境条件 機器は、次の標準環境条件において正常に動作しなければならない。

項 目	内 容																				
機 器 区 分 項 目	屋 内 機 器		屋 外 機 器																		
	管 理 所 機 器	被 管 理 所 機 器																			
	温 度	5～40℃ [10～35℃]	0～40℃	－10～40℃																	
	相 対 湿 度	30～80% [40～80%] ※結露のないこと	30～80% ※結露のないこと	30～95%																	
	据 付 耐 震 強 度	「建築設備耐震設計施工指針」に基づく耐震計算書を提出すること																			
(注) 1) 温度、相対湿度の条件は、精度保証を示す値である。 2) 管理所機器における [] の値は、汎用品を対象とする。 管理所とは、藤尾ダム管理所とする。 3) 被管理所機器とは、放流設備に設置する落雷対策盤、計測機器等とする。 4) 屋外機器とは、屋外に設置する機器等とする。																					
(2) 供給電源条件 1) ダム管理所（ダム管理棟） AC100V±10% 60Hz 単相二線式 AC200V±10% 60Hz 三相三線式																					
(3) 塗装・銘板 (a) 塗装色 装置架の塗装は十分な防錆効果をもつ下塗りを行い、下記の通りとする。																					
<table><tr><td>項目／種別</td><td>テレメータ監視制御装置架</td><td>備 考</td></tr><tr><td>色彩（マンセル記号）</td><td>5Y7/1</td><td></td></tr><tr><td>塗装方法</td><td>メラミン焼付け</td><td></td></tr><tr><td>塗装厚さ</td><td>40μ 以上</td><td></td></tr><tr><td>光沢</td><td>半つや</td><td></td></tr><tr><td>硬度</td><td>H ～ 2H</td><td></td></tr></table>				項目／種別	テレメータ監視制御装置架	備 考	色彩（マンセル記号）	5Y7/1		塗装方法	メラミン焼付け		塗装厚さ	40μ 以上		光沢	半つや		硬度	H ～ 2H	
項目／種別	テレメータ監視制御装置架	備 考																			
色彩（マンセル記号）	5Y7/1																				
塗装方法	メラミン焼付け																				
塗装厚さ	40μ 以上																				
光沢	半つや																				
硬度	H ～ 2H																				
※ 一般購入品はメーカー標準色とする。 筐体内部設置品は除く。																					
(b) 銘板 装置架には以下の銘板を付ける。																					
<table><tr><td>材質</td><td colspan="3">アクリル樹脂製</td></tr><tr><td>地色</td><td>白地色</td><td>文字色</td><td>黒文字</td></tr><tr><td>字体</td><td colspan="3">丸ゴシック体</td></tr><tr><td>寸法</td><td>名称板</td><td colspan="2">400W×63H×3t mm 程度</td></tr></table>				材質	アクリル樹脂製			地色	白地色	文字色	黒文字	字体	丸ゴシック体			寸法	名称板	400W×63H×3t mm 程度			
材質	アクリル樹脂製																				
地色	白地色	文字色	黒文字																		
字体	丸ゴシック体																				
寸法	名称板	400W×63H×3t mm 程度																			
(4) 構造 盤の基本部に関して、保守点検に必要な動作は可能な限り筐体前面で実施できるものとする。																					
(5) 信号情報受け渡し条件 管理対象設備の各機器からの信号情報の受渡し項目は、「管理項目表」に示すとおりとし、信号受渡し条件は次による。 1) 監視信号 ： 無電圧 a 接点信号 2) デジタル計装信号：貯水位信号：BCD 信号 雨量パルス信号：無電圧 a 接点信号 3) アナログ計測信号：気象信号 DC4～20mA 4) 制御信号 ： 無電圧 a 接点信号又は有電圧 a 接点信号																					

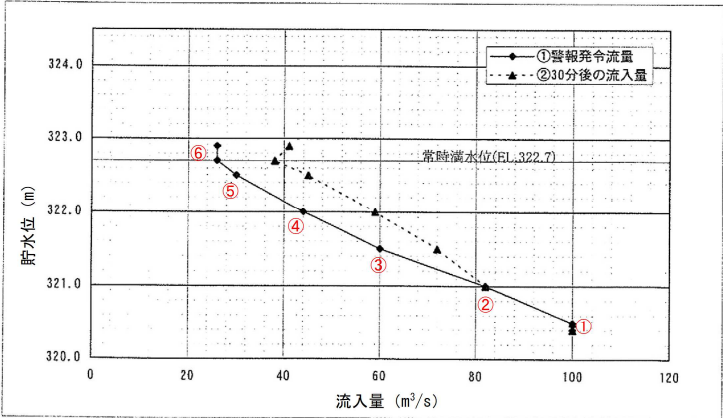
項 目	内 容																																																																				
第 1 2 章 構造及び製作 1． 一般事項 2． 設備仕様 2-1 藤尾ダム管 理所	(6) 伝送路回線構成																																																																				
	<table><tr><th>伝送区間</th><th>用途</th><th>伝送路種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>藤尾ダム管理所～新市支所(中継監視局)</td><td>放流警報操作 諸量データ転送</td><td>ISDN, DA64 単一无線(半二重通信)</td><td>二重化</td></tr><tr><td>父尾警報局～新市支所(中継監視局)</td><td>放流警報操作</td><td>単一无線(半二重通信)</td><td></td></tr><tr><td>金丸警報局～新市支所(中継監視局)</td><td>放流警報操作</td><td>単一无線(半二重通信)</td><td></td></tr><tr><td>金丸水位雨量局～新市支所(中継監視局)</td><td>雨量・水位 TM</td><td>単一无線(半二重通信)</td><td></td></tr></table>	伝送区間	用途	伝送路種別	備考	藤尾ダム管理所～新市支所(中継監視局)	放流警報操作 諸量データ転送	ISDN, DA64 単一无線(半二重通信)	二重化	父尾警報局～新市支所(中継監視局)	放流警報操作	単一无線(半二重通信)		金丸警報局～新市支所(中継監視局)	放流警報操作	単一无線(半二重通信)		金丸水位雨量局～新市支所(中継監視局)	雨量・水位 TM	単一无線(半二重通信)																																																	
	伝送区間	用途	伝送路種別	備考																																																																	
	藤尾ダム管理所～新市支所(中継監視局)	放流警報操作 諸量データ転送	ISDN, DA64 単一无線(半二重通信)	二重化																																																																	
	父尾警報局～新市支所(中継監視局)	放流警報操作	単一无線(半二重通信)																																																																		
	金丸警報局～新市支所(中継監視局)	放流警報操作	単一无線(半二重通信)																																																																		
	金丸水位雨量局～新市支所(中継監視局)	雨量・水位 TM	単一无線(半二重通信)																																																																		
	(1)概要																																																																				
	本設備は、ダム施設計測データの演算処理・集計処理により、ダム管理所内で表示・記録を行うと共に、新市支所へデータ転送を行い表示・記録を行うものである。																																																																				
	(2)機能概要																																																																				
1) 水文・利水・気象観測器データの入力、演算、集計																																																																					
2) 警報の制御(起動、停止)																																																																					
3) データの表示																																																																					
4) 記録(日報、月報等の作成)																																																																					
5) 利水状態の異常検出及び機器異常の検出(可視、可聴、記録)																																																																					
構造及び製作は、設計図書に示す設計条件、仕様に対して十分な機能を有し、耐久性、安全性、操作性及び保守管理を考慮したものとしなければならない。																																																																					
(1)入出力処理装置(入出力処理装置Ⅰに実装)																																																																					
ダム水文量及びテレメータ水文量演算に使用する各種計測データを入力検定し、必要に応じて一次加工を行ない、次の処理へ受け渡す機能を有するものとする。																																																																					
<table><tr><th rowspan="2">処理項目</th><th colspan="2">前処理</th><th colspan="3">データ検定処理</th><th colspan="6">一次加工処理</th></tr><tr><th>サンプリング</th><th>フィルタリング</th><th>パリティ検定</th><th>イリールガル検定</th><th>スケール検定</th><th>偏差検定</th><th>貯水位標高変換</th><th>貯水位平滑処理</th><th>開度ゼロ補正</th><th>流量平滑処理</th><th>流量ゼロ補正</th></tr><tr><td rowspan="3">入力処理</td><td>情報項目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>貯水位データの 入力処理</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ゲート開度計データの 入力処理</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>流量データの 入力処理</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	処理項目	前処理		データ検定処理			一次加工処理						サンプリング	フィルタリング	パリティ検定	イリールガル検定	スケール検定	偏差検定	貯水位標高変換	貯水位平滑処理	開度ゼロ補正	流量平滑処理	流量ゼロ補正	入力処理	情報項目											貯水位データの 入力処理	○	○	○	○	○	○	○				ゲート開度計データの 入力処理	○	○	○	○	○	○		○				流量データの 入力処理	○	○	○	○	○				○	○
処理項目		前処理		データ検定処理			一次加工処理																																																														
	サンプリング	フィルタリング	パリティ検定	イリールガル検定	スケール検定	偏差検定	貯水位標高変換	貯水位平滑処理	開度ゼロ補正	流量平滑処理	流量ゼロ補正																																																										
入力処理	情報項目																																																																				
	貯水位データの 入力処理	○	○	○	○	○	○	○																																																													
	ゲート開度計データの 入力処理	○	○	○	○	○	○		○																																																												
	流量データの 入力処理	○	○	○	○	○				○	○																																																										
①データ取込周期(Δt)																																																																					
取込周期 0.2秒毎																																																																					
②フィルタリング処理																																																																					
取込周期(Δt)にて取り込んだ最新の計測値と前回計測値を比較して、																																																																					

項 目	内 容
	ア) 前回と異常にかけ離れた値が計測された場合は前回値を採用する。 イ) 一定幅の値が2回継続した時、計測値が変化したと判断して採用する。 ウ) 幅は任意に設定できるものとする。 ③データ検定処理 以下のデータ入力検定を行うものとする。 ア) パリティ検定 異常値を破棄する為に、BCD符号で構成される計測値に対して取り込み周期 ($\Delta t=0.2$ 秒) 毎にパリティ符号検定を行う。(偶数パリティ) イ) イリーガル検定 異常値を破棄する為に、BCD符号で構成される計測値に対して取り込み周期 ($\Delta t=0.2$ 秒) 毎にBCD符号検定を行う。 ウ) スケール検定 異常値を破棄する為に、取り込んだ計測値が定められた計測範囲内に(スケール範囲内)にあるか否かの検定を行う。 エ) 偏差値検定 計測値の異常な急変を破棄する為に、前回の計測値と今回の計測値の差が許容範囲(設定値)以内であるか否かの検定を行う。 ④データ加工処理 以下のデータ加工処理を行うものとする。 ア) 貯水位標高変換処理 計測貯水位が水深で入力される場合は、標高への変換処理を行う。 イ) 貯水位平滑化処理 2秒毎に取り込んだ計測貯水位の移動平均処理を行う。 ウ) 開度ゼロ補正処理 ゲート全閉位置と開度ゼロ点位置がずれている時は、全閉補正を行う。 エ) 流量平滑化処理 流量の移動平均処理を行う。 オ) 流量ゼロ補正 流量のゼロ補正(設定値)を行う。 ⑤本装置はPLCで構成するものとし、以下の性能を有するものとする。 ア) プログラム容量 40kステップ程度 イ) 処理速度 0.98ns/ステップ程度 ⑥入出力処理装置の性能は以下の通りとする。 ア) 形式 PLC (プログラマブル・ロジック・コントローラ) イ) 演算 MPU シーケンス専用制御プロセッサ 基本命令処理時間: 0.98ns ウ) プログラム言語 ラダー言語 エ) RAS 機能 (1) プログラムキャッシュメモリ自動修復機能 (2) 自己診断機能 (3) 命令実行不能検出機能 (4) ウォッチドッグタイマ機能 オ) 接続インタフェース 制御系 LAN インタフェース デジタル入力インタフェース (2) 情報伝達処理装置 (入出力処理装置 I に実装) 情報伝達処理装置は、次の機能を有するものとする。 ① テレメータ監視制御装置からのデータを受けて一時記憶し、演算処理装置からの転送要求時にデータを転送する機能 ② 放流警報監視制御装置からの状態信号を受けて一時記憶し、演算処理装置からの転送要求時にデータ転送する機能 ③ 時計装置の時刻信号を元にシステム時計を時刻校正する機能

項 目	内 容
	④ 情報表示盤へのデータ出力及びその表示処理機能（情報表示盤増設時に対応） ⑤ LANインタフェース機能（通信機能） ⑥ 本装置はPLCで構成するものとし、以下の性能を有するものとする。 ア) プログラム容量 40kステップ程度 イ) 処理速度 0.98ns/ステップ程度 ⑦情報伝達処理装置の性能は以下の通りとする。 ア) 形式 PLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ） イ) 演算 MPU シーケンス専用制御プロセッサ 基本命令処理時間：0.98ns ウ) プログラム言語 ラダー言語 エ) RAS 機能 (1)プログラムキャッシュメモリ自動修復機能 (2)自己診断機能 (3)命令実行不能検出機能 (4)ウォッチドッグタイマ機能 オ) 接続インタフェース 制御系 LAN インタフェース デジタル入力インタフェース (3)演算処理装置 入出力処理装置からオンラインで入力される計測データを元に、各種の水文量に演算処理を行うものである。 ①演算機能処理 ア) ダム水文量、テレメータ水文量の演算処理 イ) 情報の判定処理 ウ) 集計処理 エ) データ蓄積処理 オ) ダム水文量、テレメータ水文量の表示処理 カ) 気象観測データ、漏水観測データの表示処理 キ) 情報の判定処理による警報・通報内容の表示／記録 ②表示機能処理 ア) 流域水文図表示画面 イ) ダム放流状況図表示画面 ウ) ダム水文量データ表示画面 エ) ゲート放流量データ表示画面 オ) 雨量データ表示画面 カ) 河川水位、流量データ表示画面 キ) 堤体データ(漏水量、浸潤線水位)表示画面 ク) 気象データ表示画面 ケ) 警報・通報履歴表示画面 コ) 貯水池水位容量曲線画面 ③演算処理装置の性能は以下の通りとする。 ア) プロセッサ Intel®Core™ i3-13100E 程度 イ) 動作周波数 3.30GHz 程度 ウ) コア数 4 程度 エ) スレッド数 8 程度 オ) メインメモリ 16GB 程度 カ) OS Windows 11 IoT Enterprise LTSC 2024 相当 キ) 補助記憶装置 3.5 型 SATA 480GB×2(Advanced RAID モデル)相当 ク) インタフェース USB 3.2 GEN 2 対応 × 4 ポート程度 USB 3.2 GEN 1 対応 × 2 ポート程度 LAN(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)×2 程度 RS232C×2 程度

項 目	内 容
	ケ) ディスプレイ 1ポート(DisplayPort v1.2)相当 コ) RAS 機能 ハードウェア状態監視機能 (温度、FAN、電圧、ミラーリング、メモリ)、 SMART 監視機能、ウォッチドッグタイマ監視、 バッテリアラーム検出機能、外部入力監視機能、 デジタル入出力機能、ロギング機能、通電時間計 測機能、ハードウェア寿命診断、RAS 機能チェッ クツール機能相当 サ) その他 キーボード、マウス、USB スピーカ (3W×2)実装 シ) 環境仕様 周囲温度：0℃～+50℃ 湿度：20%～90%程度 ④TFT モニタ ア) 画面サイズ 17 型程度 イ) 最大表示解像度 1280×1024 程度 ウ) 最大表示色 1677 万色程度 エ) 輝度 195cd/m ² 程度 オ) 対応 OS Windows11 相当 カ) その他 抵抗被膜方式タッチ機能付き キ) 環境仕様 周囲温度：0℃～+40℃程度 湿度：20%～80%程度
2-2 ソフトウェア 仕様	データ処理ソフトウェアの仕様は、以下の通りとする。 1. 一般事項 (1)OS Windows11相当とする。 (2)アプリケーションソフト 1) ソフトウェアは、階層構造とし、次の条件を備えたものとする。 ①ソフトウェアは与えられた条件のもとで要求される機能を実際に行わなければならない。 ②各モジュール内の処理は単純化し処理内容(処理タイミング、処理の手順等)が、容易に理解できなければならない。 2) ソフトウェアの機能及び動作を確認するため、次の試験が容易に行えるものとする。 ①各処理機能単位で組合せ試験ができるものとする。 ②総合的な機能確認及び動作確認試験ができるものとする。 2. ソフトウェア機能仕様 ソフトウェア機能仕様は「水管理制御方式技術指針（計画設計編）」に準じるものとし、内容は次のとおりとする。 なお、ソフトウェア製作前に演算処理内容を記載したソフトウェア計画設計書を提出するものとする。 (1)入出力データ 入出力データは、別紙「管理項目表」に示すとおりとする。 (2)システム管理 システム管理は、プログラム管理、共有領域メモリ管理、RAS管理、時刻・スケジュール管理、処理シーケンス管理、事象（警報・通報）管理の処理プログラムから構成する。 (3)データ編集処理

項 目	内 容																		
	データ収集処理されたデータを識別し、必要なコード変換を施した後、演算処理あるいはファイル処理等へデータを出力する処理を行う。なお、データ編集処理は、記録、表示、伝送制御処理などにも必要となるが、その場合の編集処理は当該処理プログラムに含まれるものとする。 (4) 演算処理 演算処理は、収集した水位、流量、ゲート開度、雨量その他の演算処理及び日報・月報等の集計値処理を行うものとする。 演算処理に必要な基本条件は、別紙「既設演算仕様」に準ずるものとする。 (5) 状態監視・警報処理 操作入力処理等で設定された判定値等により、各種諸量データの水利・水文状態、設備・機器状態の監視処理、警報処理を行う。 (6) 操作入力処理 演算処理装置又は記録用操作端末からのダム諸量の演算条件、水利・水文状態等の監視条件の各種定数の設定入力、日報記録・月報記録等の帳票作成入力、ファイルのデータ補填入力を行う。 (7) ディスプレイ表示処理 各端末のディスプレイ画面に現在データ、履歴データ等を表、グラフ、模式図の形式で表示を行う。 (8) ファイル処理 ファイル処理は、演算処理等で処理したデータをデータファイルに保存する処理を行うものである。また、データの一元管理を行うため、マスターファイルを設け、各種演算処理周期毎に処理されたデータを保存するものとし、端末装置等データを必要とする装置は必要な時にマスターファイルから読出し処理をする。 <table><tr><th>ファイル構成</th><th>保存内容</th><th>保存期間</th></tr><tr><td>正分ファイル</td><td>水位、流量など正分処理で求めた正分値</td><td>2 日間以上</td></tr><tr><td>正時ファイル</td><td>水位、流量など正時処理で求めた正時値</td><td>62 日間以上</td></tr><tr><td>日ファイル</td><td>日集計処理で求めた日量値</td><td>2 年間以上</td></tr><tr><td>月ファイル</td><td>月集計処理で求めた月集計値</td><td>2 年間以上</td></tr><tr><td>記録用ファイル</td><td>通報・警報記録へ印字したデータ</td><td>1 万件以上</td></tr></table> (9) 警報発令流入量の警報・表示機能 下図はダム下流ネック地点において、1 時間後にダムから越流して 30cm/30 分以上の水位上昇がおこる可能性のある当該時刻 1 時間前の貯水位・流入量である。本図が緊急放流体制へ移行する判断基準になるため、①～⑥の条件をプログラムに組んで、条件に入れば管理者が緊急放流体制へ移行できるよう、藤尾ダム管理所にブザー等による警報や表示ができるようにする。	ファイル構成	保存内容	保存期間	正分ファイル	水位、流量など正分処理で求めた正分値	2 日間以上	正時ファイル	水位、流量など正時処理で求めた正時値	62 日間以上	日ファイル	日集計処理で求めた日量値	2 年間以上	月ファイル	月集計処理で求めた月集計値	2 年間以上	記録用ファイル	通報・警報記録へ印字したデータ	1 万件以上
ファイル構成	保存内容	保存期間																	
正分ファイル	水位、流量など正分処理で求めた正分値	2 日間以上																	
正時ファイル	水位、流量など正時処理で求めた正時値	62 日間以上																	
日ファイル	日集計処理で求めた日量値	2 年間以上																	
月ファイル	月集計処理で求めた月集計値	2 年間以上																	
記録用ファイル	通報・警報記録へ印字したデータ	1 万件以上																	

項 目	内 容												
	 <table border="1" data-bbox="566 840 986 1003"> <tbody> <tr> <td>①ダム貯水位 320.4m 時に</td> <td>100m³/s 以上流入</td> </tr> <tr> <td>②ダム貯水位 321.0m 時に</td> <td>82m³/s 以上流入</td> </tr> <tr> <td>③ダム貯水位 321.5m 時に</td> <td>60m³/s 以上流入</td> </tr> <tr> <td>④ダム貯水位 322.0m 時に</td> <td>44m³/s 以上流入</td> </tr> <tr> <td>⑤ダム貯水位 322.5m 時に</td> <td>30m³/s 以上流入</td> </tr> <tr> <td>⑥ダム貯水位 322.7m 時に</td> <td>26m³/s 以上流入</td> </tr> </tbody> </table> ダム下流 280m 地点において、 1 時間後に 30cm/30 分の水位 上昇が発生する。	①ダム貯水位 320.4m 時に	100m³/s 以上流入	②ダム貯水位 321.0m 時に	82m³/s 以上流入	③ダム貯水位 321.5m 時に	60m³/s 以上流入	④ダム貯水位 322.0m 時に	44m³/s 以上流入	⑤ダム貯水位 322.5m 時に	30m³/s 以上流入	⑥ダム貯水位 322.7m 時に	26m³/s 以上流入
①ダム貯水位 320.4m 時に	100m³/s 以上流入												
②ダム貯水位 321.0m 時に	82m³/s 以上流入												
③ダム貯水位 321.5m 時に	60m³/s 以上流入												
④ダム貯水位 322.0m 時に	44m³/s 以上流入												
⑤ダム貯水位 322.5m 時に	30m³/s 以上流入												
⑥ダム貯水位 322.7m 時に	26m³/s 以上流入												
第 1 3 章 据付	(1) 機器据付工 1) 機器の配置は、操作及び保守点検が容易な配置となるよう配慮するものとする。 2) 水管理設備盤、電気盤の据付は、地震時における水平移動・転倒等の事故を防止するため、法令・基準等に準拠した耐震計算を行い、監督職員の承諾を受け施工するものとする。なお、水管理設備盤、電気盤については、日本電機工業会(JEMA) 技術資料「配電盤・制御盤の耐震設計指針(JEM-TR144)」を使用する。また、耐震クラスはSクラスとする。												
第 1 4 章 据付材料	(1) 電線及び電線管等 ① 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル (CV) JIS C 3605 ② 高圧架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル (CV) JIS C 3606 ③ ビニル絶縁電線 (IV) JIS C 3307 ④ 制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル (CVV) JIS C 3401 ⑤ 通信用市内対ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル (CPEV) JCS 5224 ⑥ 静電遮へい付制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル (CVV-S) JIS C 3401 (2) 見本又は資料の提出 次に示す据付材料は、使用前に見本、カタログ等を監督職員に提出し承諾を得た後に使用するものとする。												

項 目	内 容						
第 1 5 章 試験及び検査 1. 監督職員による検査（確認を含む）及び立会等	<table><tr><th>材 料 名</th><th>提 出 物</th></tr><tr><td>電線、電線管、プルボックス</td><td>カタログ等</td></tr><tr><td>引込計器盤及び照明機器等</td><td>カタログ等</td></tr></table>	材 料 名	提 出 物	電線、電線管、プルボックス	カタログ等	引込計器盤及び照明機器等	カタログ等
	材 料 名	提 出 物					
	電線、電線管、プルボックス	カタログ等					
	引込計器盤及び照明機器等	カタログ等					
	本工事の段階確認は次のとおりとする。ただし、方法、日程については監督職員と協議するものとする。工場で行う段階確認は、日本国内の工場で行うものとする。						
	1) 外観構造確認						
	2) 据付外観確認						
	3) 機構動作試験確認						
	4) 電気的特性試験確認						
	5) 耐圧試験確認						
6) 単体試験確認							
7) 機能組合せ試験確認							
8) 総合組合せ試験確認							
なお、確認対象設備(装置)は、原則として最初に完成した装置又は、確認可能となった装置とする。							
また上記の確認時期は次のとおりとする。							
1) 外観構造確認	出荷前						
2) 据付外観確認	機器設置後						
3) 機構動作試験確認	出荷前						
4) 電気的特性試験確認	工場製作時：出荷前 現場据付時：機器設置後						
5) 耐圧試験確認	出荷前						
6) 単体試験確認	工場製作時：出荷前時 現場据付時：機器設置後						
7) 機能組合せ試験確認	工場製作時：出荷前 現場据付時：機器設置後						
8) 総合組合せ試験確認	工場製作時：出荷前 現場据付時：機器設置後						
(1) 設備機器との試運転調整を行うので、対向調整を記入した調整方案書を監督職員に提出し、 承諾を得た後、装置の調整を入念に行い調整方案書による試験項目により性能が充分得られるよう実施するものとする。							
(2) 調整完了時、監督職員に現地試験データ及び調整結果の確認を受けるものとする。							
既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。							
受注者は、以下の項目について必要な調整を行わなければならない。							
(3) その他必要な協議事項							

項 目	内 容
第 1 6 章 試運転調整	(1) 調整完了時、監督職員に現地試験データ及び調整結果の確認を受けるものとする。
第 1 7 章 施工管理等	(1) 主任技術者は、次のいずれかの資格を有すること。 ・ 技術士法による電気・電子部品の技術士の資格を有する者。 ・ 2 級電気通信工事施工管理技士以上の資格を有する者。 ・ 学校教育法による高等学校を卒業後 5 年以上、又は同法による大学若しくは高等専門学校を卒業後 3 年以上の電気通信工事の実務経験を有する者で、電気工学又は電気通信工学に関する学科を修めた者。 ・ 1 0 年以上の電気通信工事の実務経験を有する者。 (2) 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証（電気通信工事業）を有する者であること。
1. 主任技術者の資格	
2. 施工管理	施工管理は、農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」（令和 3 年 3 月）、「施設機械工事等施工管理基準」（令和 4 年 3 月）及び共通仕様書（施）による。なお、これらに定められていない事項については、請負者の基準によるが、この場合はあらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。
2. 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の適正な措置	本工事は「建設工事に係る資材の最資源化等に関する法律」（（平成 12 年法律第 104 号）。以下、「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講じることとする。
第 1 8 章 定めなき事項	(1) 契約書、設計図面、及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については請負者の負担で処理するものとする。 (2) この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
	計測データ	雨量パルス		1	1	無電圧接点			
		時刻規制パルス（1分）		1	1	無電圧接点			
		貯水位		1	1	BCD信号	4桁	0.01m	0～99.99m
		浸潤線水位 1		1	1	BCD信号	4桁	0.01m	0～10.00m
		浸潤線水位 2		1	1	BCD信号	4桁	0.01m	0～10.00m
		漏水量		1	1	BCD信号	4桁	0.01m	0～99.99m
	諸量データ	ダム積算雨量出力				DC0～10V			
		貯水位(100m)出力				0V			
		貯水位(1～99m)出力				DC0～10V			
		貯水位(1～99cm)出力				DC0～10V			
		貯水位 センサ信号断		1	1	無電圧接点			
		貯水位 ヒューズ断		1	1	無電圧接点			
		貯水位 上限警報（H）		1	1	無電圧接点			
		貯水位 下限警報（L）		1	1	無電圧接点			
		浸潤線 1 センサ信号断		1	1	無電圧接点			
		浸潤線 1 ヒューズ断		1	1	無電圧接点			
		浸潤線 1 上限警報（H）		1	1	無電圧接点			
		浸潤線 1 下限警報（L）		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
入出力処理装置1	監視情報	浸潤線2 センサ信号断		1	1	無電圧接点			
		浸潤線2 ヒューズ断		1	1	無電圧接点			
		浸潤線2 上限警報（H）		1	1	無電圧接点			
		浸潤線2 下限警報（L）		1	1	無電圧接点			
		漏水量 センサ信号断		1	1	無電圧接点			
		漏水量 ヒューズ断		1	1	無電圧接点			
		漏水量 上限警報（H）		1	1	無電圧接点			
		漏水量 下限警報（L）		1	1	無電圧接点			
		情報伝達処理装置1 異常		1	1	無電圧接点			
		情報伝達処理装置2 CPU-F A I L		1	1	無電圧接点			
		情報伝達処理装置2 POW-A L M		1	1	無電圧接点			
		故障一括		1	1	無電圧接点			
		1号洪水吐ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		1号洪水吐ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		2号洪水吐ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		2号洪水吐ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		1号利水管ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		1号利水管ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		2号利水管ゲート全開		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
		2号利水管ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		3号利水管ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		3号利水管ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		1号放流管ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		1号放流管ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
		2号放流管ゲート全開		1	1	無電圧接点			
		2号放流管ゲート全閉		1	1	無電圧接点			
入出力処理装置2	計測データ	1号利水管ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(-7～50cm)
		2号利水管ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(-7～50cm)
		3号利水管ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(-7～50cm)
		1号放流管ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(-6～100cm)
		2号放流管ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(-6～100cm)
		1号洪水吐ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(0～560cm)
		2号洪水吐ゲート開度		1	1	DC4～20mA			(0～560cm)
		I N F異常		1	1	無電圧接点			
		音声合成装置異常		1	1	無電圧接点			
		警報TM制御装置CPU異常		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
		放流警報異常		1	1	無電圧接点			
		テレメータ異常		1	1	無電圧接点			
		中継局異常		1	1	無電圧接点			
		操作卓電源異常		1	1	無電圧接点			
		警報T M制御装置電源異常		1	1	無電圧接点			
		気象観測装置電源異常		1	1	無電圧接点			
		入出力処理装置電源異常		1	1	無電圧接点			
		1次UPS商用電源断		1	1	無電圧接点			
		1次UPS B A T T電圧低下		1	1	無電圧接点			
		2次UPS商用電源断		1	1	無電圧接点			
		2次UPS B A T T電圧低下		1	1	無電圧接点			
		演算処理部電源異常		1	1	無電圧接点			
		記録端末装置電源異常		1	1	無電圧接点			
		警報		1	1	無電圧接点			
		試験		1	1	無電圧接点			
		自動点検		1	1	無電圧接点			
		点検中		1	1	無電圧接点			
		父尾除外		1	1	無電圧接点			
		金丸除外		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
情報伝達処理装置1	監視情報	ダム1サイレン選択		1	1	無電圧接点			
		ダム2サイレン選択		1	1	無電圧接点			
		サイレン選択		1	1	無電圧接点			
		テープ放送選択		1	1	無電圧接点			
		擬似音放送選択		1	1	無電圧接点			
		マイク放送選択		1	1	無電圧接点			
		操作解除選択		1	1	無電圧接点			
		父尾選択		1	1	無電圧接点			
		金丸選択		1	1	無電圧接点			
		準備完了		1	1	無電圧接点			
		起動		1	1	無電圧接点			
		強制停止		1	1	無電圧接点			
		観測中		1	1	無電圧接点			
		中継起動中		1	1	無電圧接点			
		中継異常		1	1	無電圧接点			
		中継電源異常		1	1	無電圧接点			
		警報中		1	1	無電圧接点			
		ダム1サイレン停電		1	1	無電圧接点			
		ダム1サイレン不良		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
		ダム２サイレン停電		1	1	無電圧接点			
		ダム２サイレン不良		1	1	無電圧接点			
		父尾サイレン停電		1	1	無電圧接点			
		父尾サイレン不良		1	1	無電圧接点			
		父尾スピーカ停電		1	1	無電圧接点			
		父尾スピーカ不良		1	1	無電圧接点			
		金丸サイレン停電		1	1	無電圧接点			
		金丸サイレン不良		1	1	無電圧接点			
		金丸スピーカ停電		1	1	無電圧接点			
		金丸スピーカ不良		1	1	無電圧接点			
		テレメータ呼出自動切換え		1	1	無電圧接点			
		テレメータ呼出１０分		1	1	無電圧接点			
		テレメータ呼出３０分		1	1	無電圧接点			
		テレメータ呼出６０分		1	1	無電圧接点			
		テレメータ呼出任意呼出		1	1	無電圧接点			
		金丸水位除外		1	1	無電圧接点			
		金丸雨量除外		1	1	無電圧接点			
		新市雨量除外		1	1	無電圧接点			
		金丸受信不良		1	1	無電圧接点			

藤尾ダム管理所 管理項目表

別紙

局名（施設名）	施設区分	管理項目	数量			データ入出力受渡し条件			
			台数	データ数	合計	入出力信号	桁数	最小単位	計測範囲
		金丸停電		1	1	無電圧接点			
		新市受信不良		1	1	無電圧接点			
		新市停電		1	1	無電圧接点			
		予備		1	1	無電圧接点			
		演算処理装置 WDTアラーム		1	1	無電圧接点			
		演算処理装置 DC電源アラーム		1	1	無電圧接点			
		演算処理装置 温度上昇アラーム		1	1	無電圧接点			
		記録端末装置 WDTアラーム		1	1	無電圧接点			
		記録端末装置 DC電源アラーム		1	1	無電圧接点			
		記録端末装置 温度上昇アラーム		1	1	無電圧接点			
		入出力処理装置 II 電源異常		1	1	無電圧接点			
計測データ		金丸水位雨量局 水位				BCD信号	4 桁	0.1m	0～99.99m
		金丸水位雨量局 雨量				無電圧接点			

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 76 福山市(新市) 00-08.07.01(0)	
諸経費体系	5 電気設備	
	当世代	前世代
工種 工事費端数区分 施工地域・工事場所区分	14 その他土木工事(1) 01 千円未満切捨 00 補正なし	

本 工 事 費

内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事費						
機器費（製作及び据付調整）						レベル 1
藤尾ダム管理所	1		式			レベル 2
入出力処理装置 及び演算処理装置	1		式			レベル 3
入出力処理装置 装置	1		式			レベル 4
入出力処理装置 PLC	1		台			00
情報伝達処理装置 入出力処理装置 PLC	1		台			00
機器収容架 入出力処理装置	1		架			00
入出力処理装置 ソフトウェア	1		式			レベル 4

本 工 事 費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
入出力処理装置 _設計計画書作成						00
	1		式			
入出力処理装置 _ソフトウェア作成						00
	1		式			
演算処理装置 装置						レベル 4
	1		式			
演算処理装置 FA-PC/ディスプレイ含む						00
	1		台			
演算処理装置 ソフトウェア作成						レベル 4
	1		式			
演算処理装置_設計計画書作成						00
	1		式			
演算処理装置_ソフトウェア作成						00
	1		式			
演算処理装置_表示機能計画書作成						00
	1		式			
演算処理装置_表示機能作成						00
	1		式			

本 工 事 費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
据付工事										レベル 1	
		1			式						
藤尾ダム管理所										レベル 2	
		1			式						
輸送費										レベル 3	
		1			式						
輸送費										レベル 4	
		1			式						
輸送費	入出力処理装置、機器収容架、演算処理装置									00	
		1			式						
据付										レベル 3	
		1			式						
据付										レベル 4	
		1			式						
据付工事	藤尾ダム管理所									00	
		1			式						
調整										単第 0 -0001号表 レベル 3	
		1			式						

本 工 事 費

内訳表

頁0 -0005

	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整						レベル4
		1	式			
	調整 藤尾ダム管理所					00
		1	式			単第 0 -0004号表
	製作工事価格（支給、移設含まず）					
	製作工事価格（製作及び調整）					
	直接工事費					

本 工 事 費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費 (率分)											
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費											
技術者間接費											
技術者間接費										レベル 2	
技術者間接費		1			式					レベル 3	
技術者間接費		1			式					レベル 4	
技術者間接費		1			式					00	
技術者間接費		1			式						

本 工 事 費

内訳表

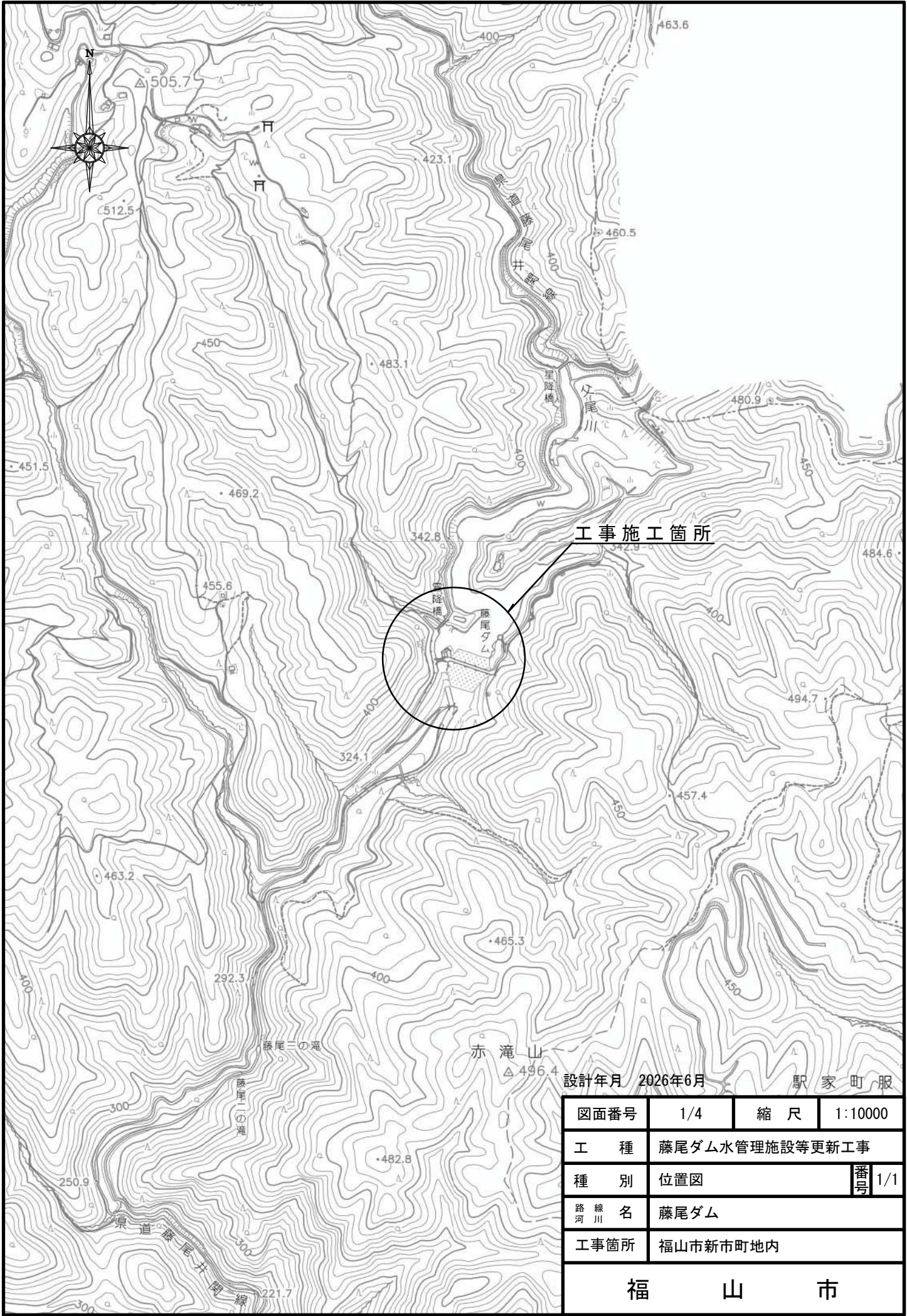
頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器管理費						
機器間接費						
間接工事費						
据付工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
据付工事価格						
据付工事価格計						

本 工 事 費

内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格							
消費税相当額							
工事価格計							
消費税相当額計							
工事費計							



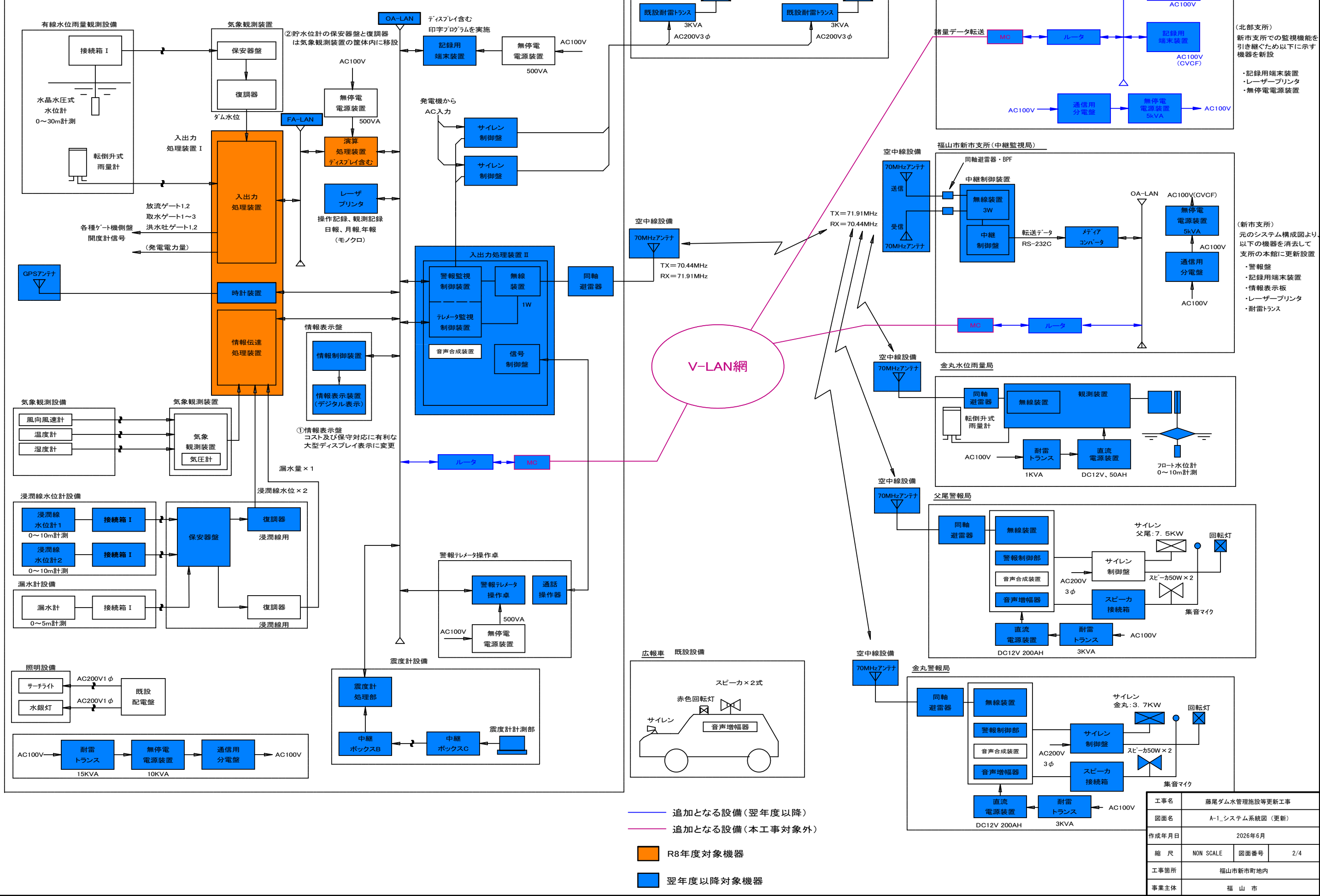
工事箇所

設計年月 2026年6月

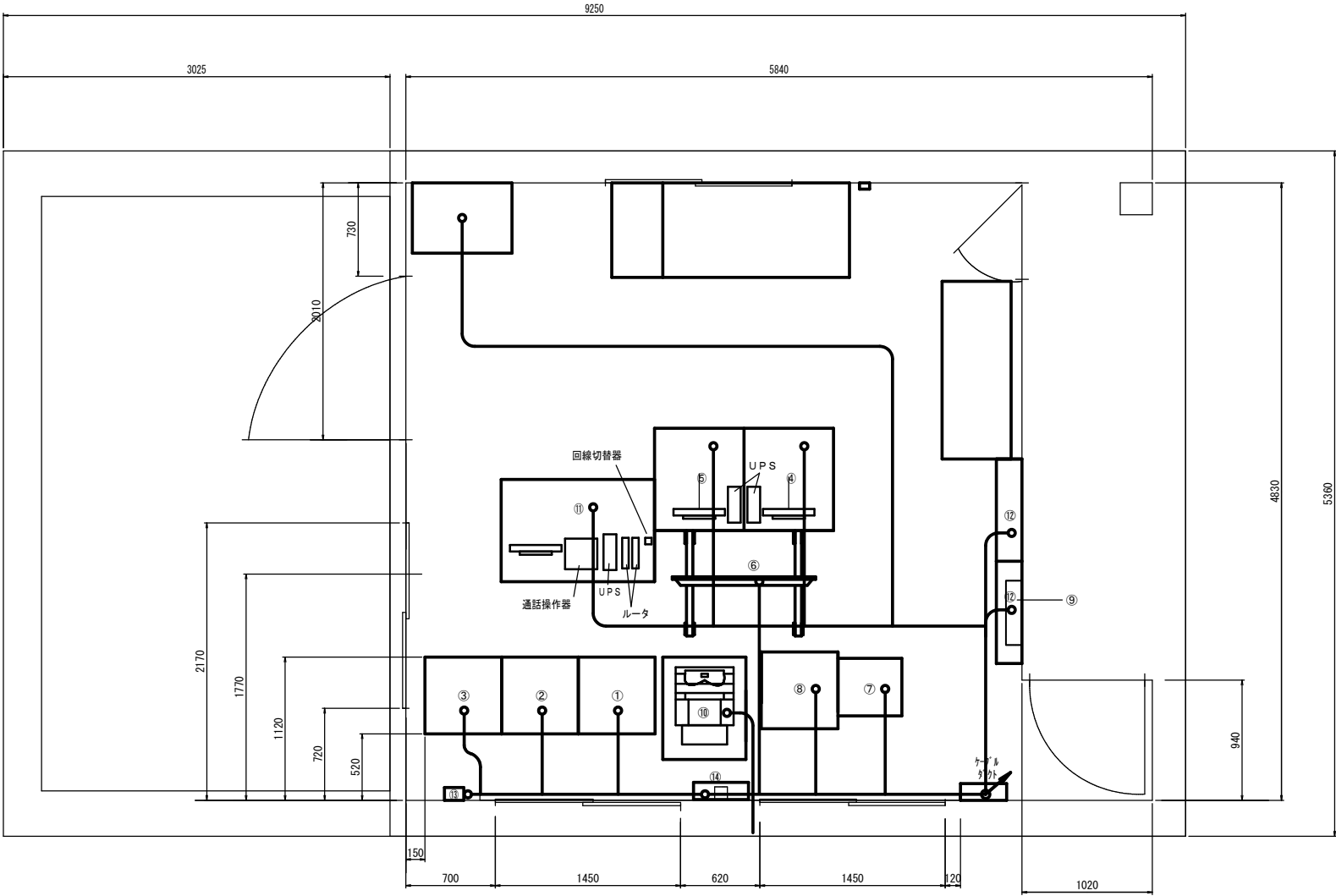
駅 家 町 服

図面番号	1/4	縮 尺	1:10000
工 種	藤尾ダム水管理施設等更新工事		
種 別	位置図	番 号	1/1
路 線 名	藤尾ダム		
工事箇所	福山市新市町地内		
福 山 市			

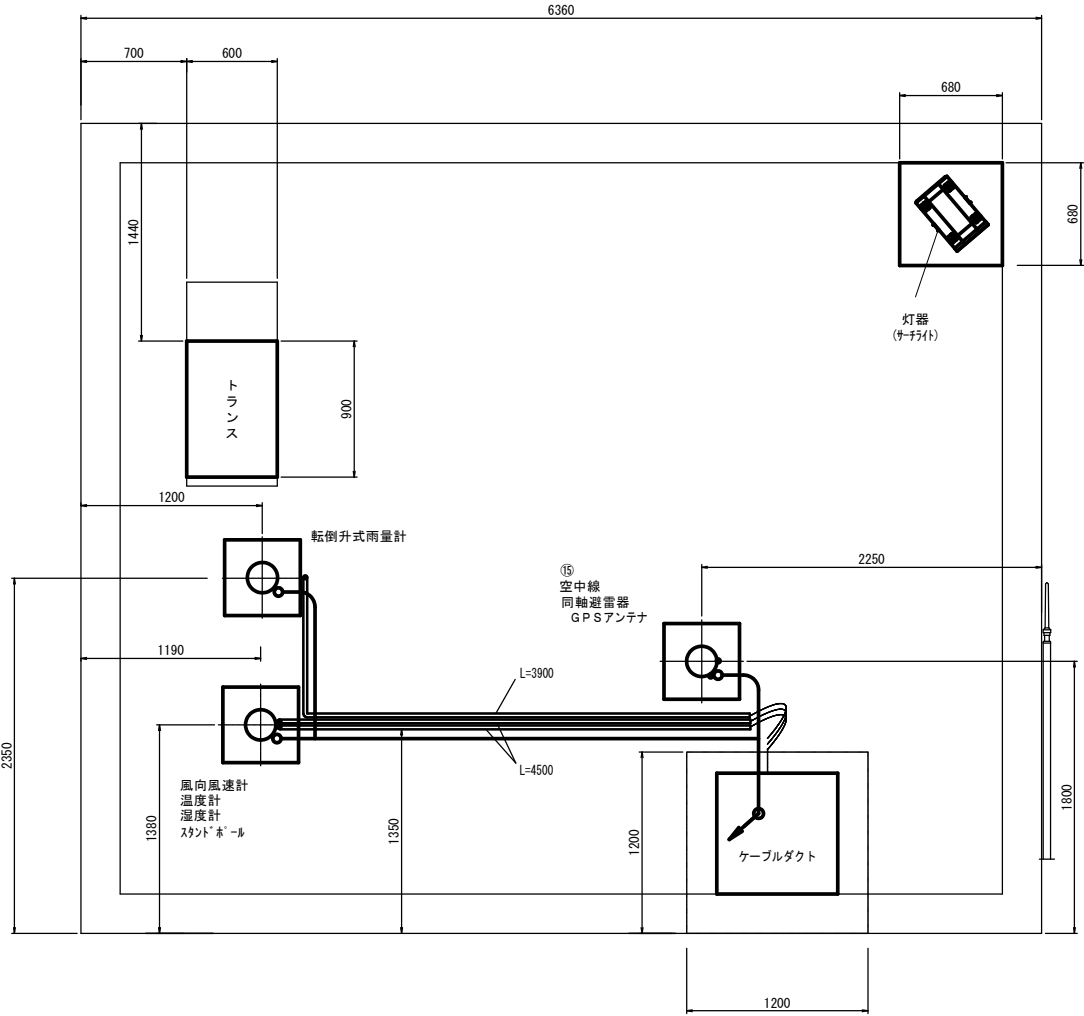
【施設更新の概要】
・藤尾ダム管理所、北部支所、新市支所をVLANによる回線ネットワークを構成する。
・父尾警報局、金丸水位雨量局、金丸水位雨量局は、新市支所を中継局とした現行の単一无線回線で更新する。
・藤尾ダム管理所と新市支所間は、V-LAN及び、単一无線回線の二重化とする。



藤尾ダム管理所 配置・配線図(更新)



藤尾ダム管理所 2 F 機器配置図
S=1:25

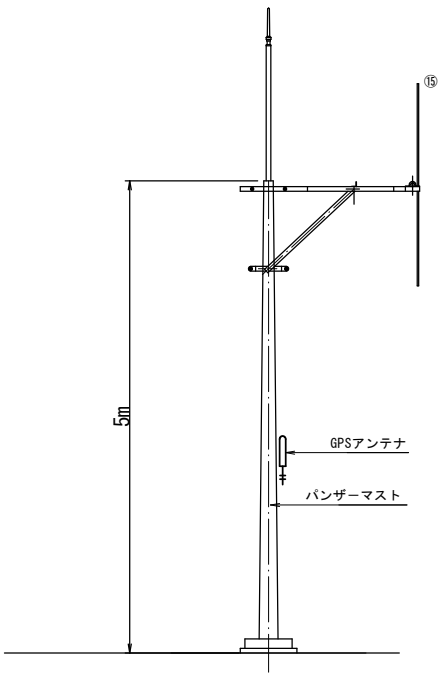


藤尾ダム管理所屋上 機器配置図
S=1:25

盤類機器表

記号	機 器 名 称	寸法(W×D×H)	備 考
①	入出力処理装置Ⅰ	600×600×1950	更新(漏水計用復調器は既設利用)
②	入出力処理装置Ⅱ	600×600×1950	更新(音声合成装置は既設利用)
③	気象観測装置	600×600×1950	
④	演算処理装置		更新
⑤	記録用端末装置		更新
⑥	情報表示盤		更新
⑦	耐雷トランス	500×450×800	更新
⑧	無停電源装置	580×600×600	更新
⑨	通信用分電盤	500×125×800	更新
⑩	レーザプリンタ		更新
⑪	警報リレー操作卓		更新
⑫	サイレン制御盤	800×200×600	更新
⑬	同軸避雷器		更新
⑭	多機能型計測震度計処理部	430×135×250	更新
⑮	空中線設備、同軸避雷器、GPSアンテナ		更新

R8年度対象機器



装柱図(管理所屋上)

S=1:40

(注)空中線(アンテナ)用の装柱金具は既設流用とする。

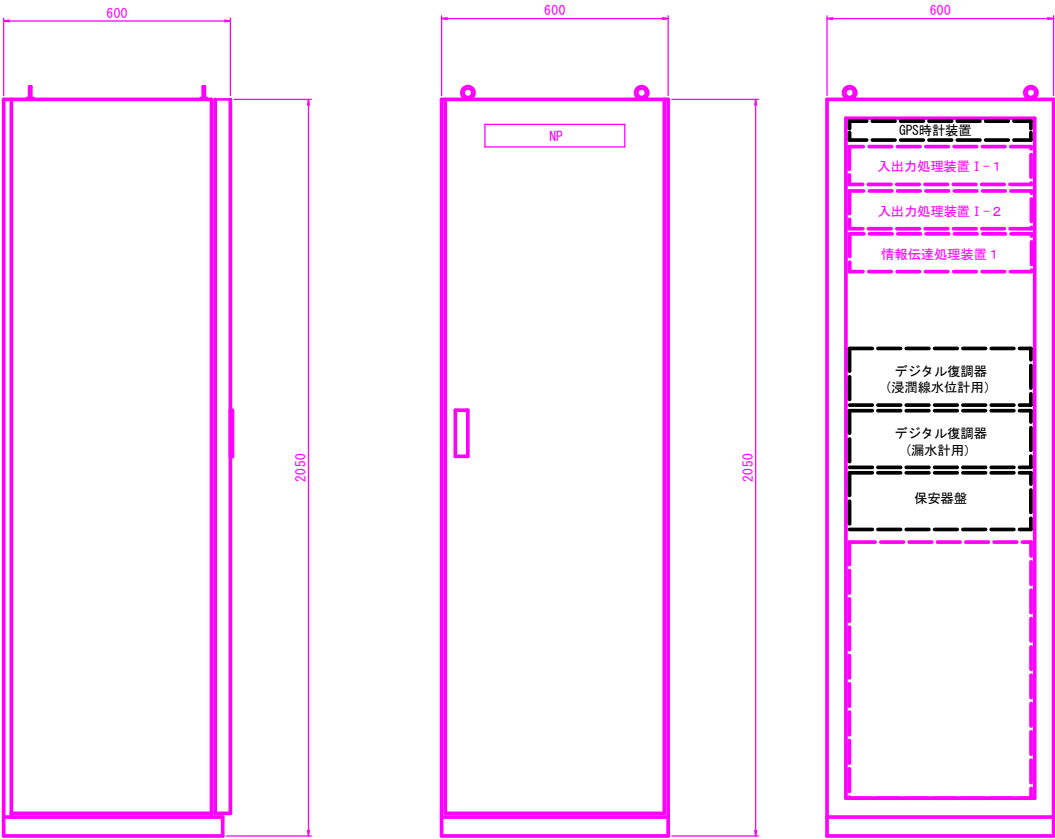
※入出力処理装置Ⅰ及び演算処理装置の据付場所については藤尾ダム管理所2Fとし、詳細な据付位置は監督員と協議し決定する。

工事名	藤尾ダム水管理施設等更新工事		
図面名	A-3_藤尾ダム管理所 配置・配線図(更新)		
作成年月日	2026年6月		
縮尺	図 示	図面番号	3/4
工事箇所	福山市新市町地内		
事業主体	福 山 市		

ダム局外形図1(更新)

入出力処理装置 I

S=1:10



側面

前面

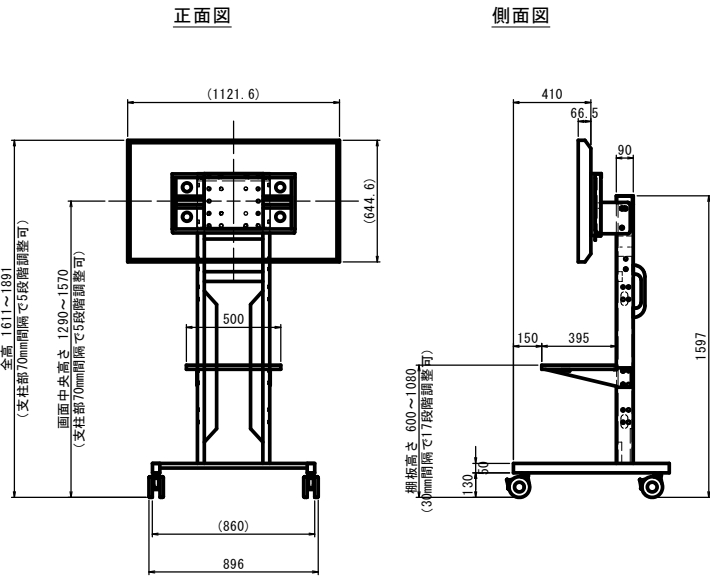
内部実装

NP名称		
記号	名 称	備 考
NP	入出力処理装置 I (※)	更新

※デジタル復調器(漏水計用)は既設利用とする。

情報表示盤

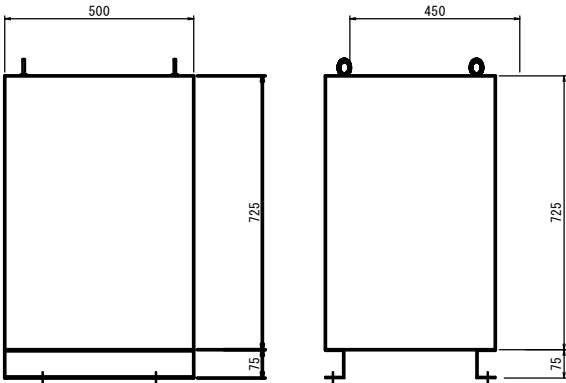
S=1:20



NP名称		
記号	名 称	備 考
	情報表示盤	更新

耐雷トランス

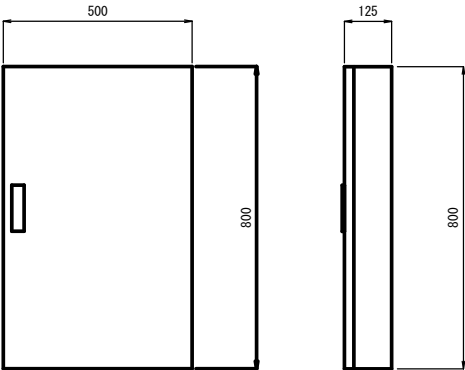
S=1:10



NP名称		
記号	名 称	備 考
	直流電源装置	更新

通信用分電盤

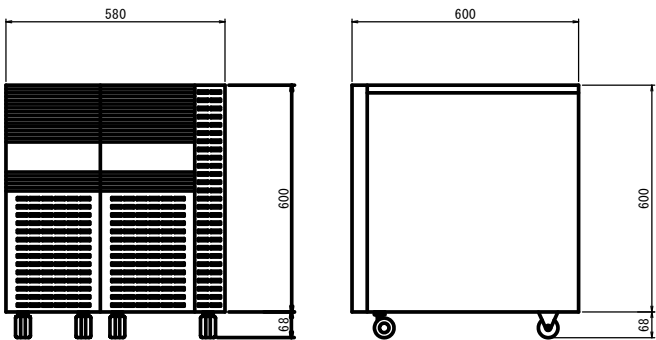
S=1:10



NP名称		
記号	名 称	備 考
NP	通信用分電盤	更新

直流電源装置

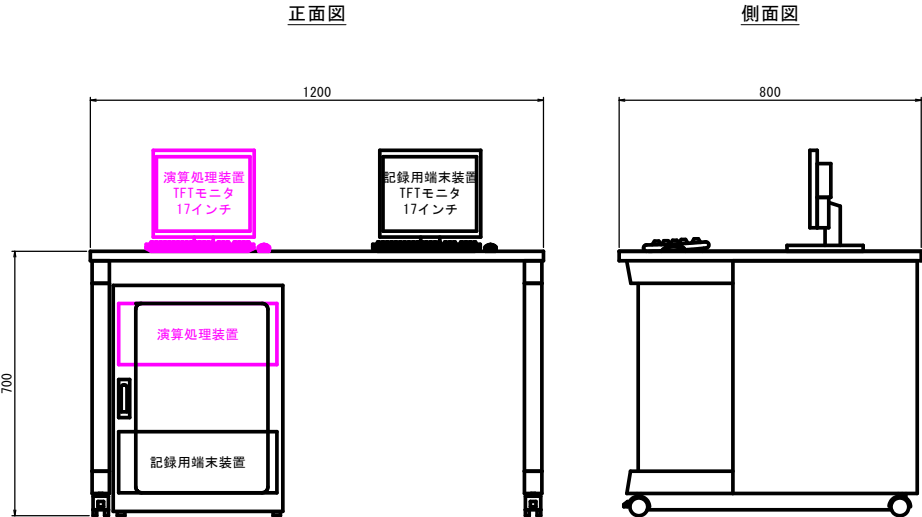
S=1:10



NP名称		
記号	名 称	備 考
	直流電源装置	更新

演算処理装置・記録用端末装置

S=1:10

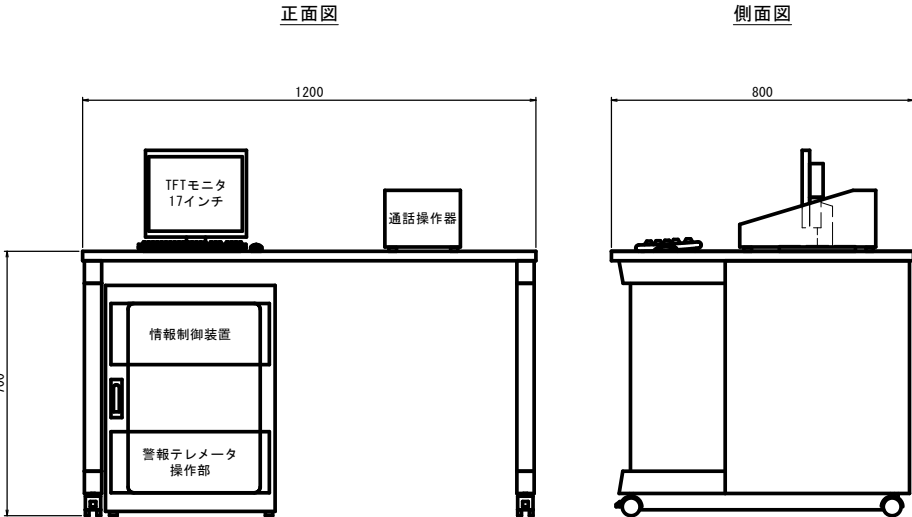


正面図

側面図

警報テレメータ操作卓

S=1:20



正面図

側面図

工事名	藤尾ダム水管理施設等更新工事		
図面名	C-1_ダム局外形図1(更新)		
作成年月日	2026年6月		
縮尺	図示	図面番号	4/4
工事箇所	福山市新市町地内		
事業主体	福 山 市		

参考図書

单第 0 -0001号表

頁0 -0009

1 式 当り

[illegible]

据付 入出力処理装置

施工単価表

单第 0 -0002号表

頁0 -0010

1 台 当り

[illegible]

据付 演算处理装置

施工単価表

单第 0 -0003号表

頁0 -0011

1 台 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

調整
藤尾ダム管理所

单第 0 -0004号表

1 式 当り

[illegible]

調整 入出力処理装置

施工単価表

单第 0 -0005号表

頁0 -0013

1 台 当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0006号表

頁0 -0014

1 台 当り

[illegible]

工事数量総括表

[illegible]